

広報

ひかわ

2016
No.124

2

H i k a w a

氷川町キャッチフレーズ [大地の恵み歴史の香り氷川町]



たすきに心をつないで
熊日駅伝八代郡代表選手団

- 2 ひかわ Colors
- 3 もくじ
- 4 中学生による子ども議会開催
- 8 平成28年 氷川町成人式
- 10 申告の時期になりました
- 12 まちのトピックス！
全国・九州大会出場者激励会／スポーツ推進委員研修大会／ミニ門松づくり／シニア海外ボランティア表敬訪問／各地区で「どんどこや」
- 14 すくーらいふ（竜北西部小）
- 16 2月カレンダー
行事予定表／休日在宅医／まちへのホットライン／休日救急歯科医療
- 18 けんこうだより
- 19 こころの健康コーナー／認知症キャラバンメイトだより
- 20 氷川町まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 22 社会福祉法人などによる利用者負担軽減制度／償却資産（固定資産税）申告について
- 23 ひかわスポーツクラブたより！！
- 24 立神峡だより
- 25 町民文芸
- 26 暮らしの情報
- 31 伝言板／ひとのうごき
- 32 ひかわっ子写真館／氷川町ひなまつり展／編集後記



氷川町で頑張っている、町を彩る皆さんをご紹介します



Color 22

熊日都市対抗駅伝
八代郡代表

毎年1月から2月にかけて開催される熊日駅伝大会では、県内の郡市が郷土を代表して熱いレースを競います。

1月14日、文化センター講堂において、郡代表選手結団式が行われました。山下武八代郡体育協会長から「駅伝は一本のたすきと共に仲間を信じて走ります。長いコースの途中では必ず苦しいこともあると思いますが、苦しいのは自分だけではないと耐えてください」と激励のあいさつがあり、選手を代表して松本晃くん（新田）と新垣聖那さん（西上宮）が選手宣誓をし、健闘を誓いました。

八代郡代表は1町となった近年、苦戦を強いられています。女子駅伝で前々回大会から最下位を脱出するなど、さらなる躍進が期待されます。



▲郷土の誇りを胸に選手宣誓

郷土の誇りを胸に力走

1月24日に先がけて開催された第33回熊日都市対抗女子駅伝では、19郡市の代表が出場。

気温が0度を下回る雪が舞う天気の中、八代郡代表チームは7区間28・4キを懸命にたすきをつなぎました。結果は18位となりましたが、他のチームに負けないチームワークを見せ、どの選手も走り終えた後は、晴れやかな表情をしていました。

2月14日には、男子チームが続いて出場します。郷土の代表の応援をよろしく願います。



▲ゴールまでラストスパート！
（女子駅伝7区の増永梨乃選手）

ひかわColorsを募集します
氷川町でスポーツや文化活動、ボランティア活動などを頑張っている団体を募集します。自薦・他薦は問いません。詳しくはお問い合わせください。
問 総務課 行政係 ☎ 52・7111



中学生による子ども議会開催

12月21日、氷川町議会議場において、子ども議会が開催されました。これは中学生たちが模擬町議会を体験することで、町政を身近に感じてもらい、地方自治の本旨である住民自治の姿の一端を学び、氷川町民としての自覚と郷土を愛する心を育成することを目的としています。

町内の中学校2校の3年生12人が議員となり、町議会と同様に議会を進め、町長をはじめとする町執行部に質問や提言を行いました。

子ども議会議員および一般質問事項

- | | |
|---|---|
| <p>議長
笠原 侑希 議員
(竜北中・若洲)</p> <p>1番議員
上木屋 晴斗 議員
(氷川中・早尾北)</p> <p>2番議員
小島 悠良 議員
(竜北中・北鹿野)</p> <p>3番議員
塚田 透子 議員
(氷川中・宮園)</p> <p>4番議員
上本 岳佳 議員
(竜北中・東網道)</p> <p>5番議員
林田 千寛 議員
(氷川中・柅)</p> <p>6番議員
緒方 遥香 議員
(竜北中・若洲)</p> <p>7番議員
山村 千尋 議員
(氷川中・新村南)</p> | <p>8番議員
平野 航 議員
(竜北中・東網道)</p> <p>9番議員
小川 舞 議員
(氷川中・町)</p> <p>10番議員
上本 千乃 議員
(竜北中・西網道)</p> <p>11番議員
鬼塚 健大 議員
(氷川中・早尾北)</p> |
|---|---|
- 議題
 1. 食の自立支援について
 2. 地区のまちづくり活動への参加支援について
 3. プレマ・パパ教育について
 4. 環境美化一斉行動の実施について
 5. ジュニアリーダー育成および活動機会の充実について
 6. 各地区の伝統的な祭りについて
 7. エコ活動の実践を促進するエコマナーの検討について

教育長あいさし

太田篤洋 教育長



初めての子ども議会であり、大変緊張したことと思いますが、さすがに本町の未来を担う3年生であり、大変落ち着いた立派な態度で、とても頼もしく感じ、本町の未来が開かれていくような感じがしました。

今回は各学校で地方の政治と自治について、公民分野で事前に学習を重ね、まとめの学習

子ども議会議長あいさし

竜北中3年 笠原侑希 議長



子ども議会議員を代表して一言お礼を申し上げさせていただきます。

藤本町長をはじめ、町執行部の方々にご出席いただき、また、この議場をお借りして、子

の時間としての子ども議会であつたと思います。第1次氷川町総合振興計画をしっかりと読み込み、5つの分野から課題意識を持って、町の未来を論じていただきました。今回の提言は、大人に引けを取らないほど深く考え、自分なりに良い町づくりを目指した意見や提案が随所にあり、大変驚きました。

皆さんには今後、変化の激しい社会を生き抜くために、これまで以上に高い志とチャレンジ精神が求められていくと思います。

そのためには自分自身で課題を見つけて、その解決のために自ら学び、自分で考え、自分で判断し、主体的に解決に導

ども議会が開催できましたことを私たち子ども議会議員はじめ、氷川中、竜北中の3年生一同大変うれしく、光栄に思っております。

この子ども議会に参加しておりますのは、氷川中6名、竜北中6名からなる12名の模擬議員です。

本日は私たちの提案を議会形式で行政ができること、すべきこと、行政にお願いしたいことなどについて、質問、提案をさせていただきました。

このような素晴らしい機会を与えていただいたことに深

く能力を身に付けて行かなければならないと思います。今回本会議で経験した自分の思いや考えを整理して、あるいは聞き取ったり、表現をしたり、さらに再質問をするなど、豊かな言語活動を磨くことや、他者と協調を図り、コミュニケーション能力を高めるという学習がこれからの学校生活でますます重要視されると思います。

今回の子ども議会の学習のように、日頃から皆さん方によるさと氷川町を良く学んでいただいて、このふるさとを愛し、このふるさとを誇りに思う社会人に育ってほしいと思います。

本日の経験、感動は必ずや皆さんの成長に大きく生かされるものと思っております。

く感謝申し上げます。人口が1万3千人弱の小さな氷川町ではございますが、全てを行政任せにするだけでなく、私たちもお互いがそれぞれ知恵を出し合い、協力し合って、みんなに誇れる氷川町にしていかなければならないと感じました。

- ① 挙手をし、いよいよ発言へ
- ② 堂々とした表情で質問する平野航議員
- ③ 執行部も真剣に答弁
- ④ 議員以外の生徒も傍聴し、共に学習を深めました
- ⑤ 通常の議会同様に発言時間も表示されました

氷川町を担う中学生11人が問う11の疑問

町内の中学生11人が氷川町の将来や身近な問題について、中学生の目線で考え、町執行部に提言や質問を行いました。その質疑応答の内容をご紹介します。

※質問と答弁については、誌面の都合上、一部省略して掲載しています。

竜北中 3年 平野 航 議員

道の駅周辺環境整備について

道の駅「竜北」は多くの人で賑わっていますが、周辺には竜北公園や古墳群もあり、高速道路のインターチェンジもできました。このような資源を生かしつつ、道の駅周辺を整備すれば、もっと多くの人に訪れてもらい、町の活性化につながるのではないのでしょうか。



答弁 農業振興課長

現在、竜北公園を会場とした氷川まつり、古墳群を巡る「道の駅」竜北ウォーキングなどのイベント、グリーンツーリズム事業など、自然環境を生かしたソフト的整備により、多くの集客と活性化につながっています。施設整備は相当の予算が必要となるため、慎重な計画が求められます。今後も道の駅を中心としたソフト的環境整備も含め、いろいろな資源を生かし、さらなる活性化につなげていきたいと思えます。

竜北中 3年 上本 千乃 議員

宿泊通学体験について

私たちは小学6年生の時に、立神峡里地公園で宿泊体験を経験しました。普段できない経験をし、友達との絆を深め、達成感を味わったりしながら成長してきました。このような体験を行うようになった理由や目的、これからの計画を教えてください。



答弁 生涯学習課長

宿泊通学体験は「自主性・自立性・協調性を培う」「家族の一員として家庭での役割を考え、実践できる態度を培う」「立神峡の自然環境や生活体験を通し、児童の教科学習への興味関心を高め、学習効果を上げる」という3つの目的を掲げています。この事業は郷土の自然を知り、ふるさとを愛する心を育てる機会にもなっていると思います。今後も、意見を取り入れながら、良い事業となるよう継続していきます。



氷川中 3年 山村 千尋 議員

放課後子どもプランについて

放課後の子どもたちの安全で安心してできる活動拠点として、町の計画に放課後子どもプランがありますが、町としての考えはどうでしょうか。また、学校と連携することで、参加を促したり、学習意欲を高めることができるのではないのでしょうか。



答弁 生涯学習課長

放課後子どもプランは、放課後や週末などにおける子どもの安全な居場所を確保し、勉強、スポーツに取り組めるようにするものです。現在、氷川町では3つの小学校に「放課後児童クラブ」(学童保育)を設置しており、放課後の家庭に代わる居場所の役割を担い、定着してきていますが、放課後の学習支援など学校と連携した取り組みは行っていません。今後、学校や民間との連携が必要になるものと思われるので、プランが充実したものとなるよう検討していきます。

氷川中 3年 小川 舞 議員

創り上げる福祉を推進するための多様な人材の育成について

氷川町には多くの高齢者福祉施設がありますが、それらが充実していく中で、介護分野での人材不足をどのように補うかが課題となります。町民全体で高齢者を支えるための施策を実施することで、氷川町の福祉が「創り上げる」ものとなるのではないのでしょうか。



答弁 健康福祉課長

介護の現場では、離職率が他に比べ高いと言われていています。町としては、介護に携わる人の労働条件改善が必要と考え、国や県に人材不足の改善、介護職資格者の養成について要望していききたいと思います。また、高齢者を支える取り組みとしては、民生委員や区長による見守り活動を行っており、県では、事業者と協定を結び、異変に気付いたら社会福祉協議会や町に連絡するという体制を構築しています。

氷川中 3年 鬼塚 健大 議員

エコ活動の実践を促進するエコマネーの検討について

ボランティアエコ活動に対する対価として、エコマネーを導入することは、経費もあまり掛からず良いアイデアだと思います。エコマネーを導入する考えはありませんか。



答弁 町民環境課長補佐

合併前に使用済み食用油の持ち込みや廃油せっけんづくりの労力に応じた地域通貨のシステムを構築しましたが、継続が困難となり、3年程度で取りやめとなりました。エコマネーについては、経費をあまり掛けずに循環させていくシステムを確立して取り組まなければなりません。ごみ減量化をはじめとした環境活動には積極的に取り組んでいく必要があるため、先進自治体の事例などを参考にしながら、再度実施する可能性を模索してみたいと思います。

竜北中 3年 小島 悠良 議員

食の自立支援について

我が国は急速な勢いで少子高齢化が進んでいます。氷川町も例外ではなく、今後高齢者の一人暮らしの世帯も増えてくるのではないのでしょうか。氷川町は店の数も少なく、高齢者にとって買い物をするのには不便です。生きていく上で不可欠な食に対しての支援はどうなっていますか。



答弁 健康福祉課長

平成22年国勢調査によると、本町の世帯の23.8%が高齢者のみとなっており、増加傾向にあります。そのような状況の中、一人暮らし高齢者などに配食サービスを行うことにより、食生活の改善と健康増進を図り、在宅での自立支援を行っています。買い物支援については、社会の住環境の変化に応じ、住民ニーズを把握した上で、対策を講じていきたいと考えています。

竜北中 3年 上本 岳佳 議員

ブレママ・パパ教育について

男女共同参画社会の中で、女性の社会進出が盛んになるのは良いことだと思いますが、家庭教育力が低下するのではないかと不安があります。最近自分が自分の子どもを虐待したり、放任したりというニュースも見えますが、出産前の親に対して行っているブレママ・パパ教育について教えてください。



答弁 健康福祉課長

両親が妊娠期の正しい情報を知り、心身共に赤ちゃんを向かい入れる準備をすることを目的に開催してきましたが、就業形態の多様化により、両親そろっての開催が難しくなりました。現在は産婦人科医院を通じて、最初に妊婦に会う機会である母子手帳交付時の両親での参加を呼び掛けています。母子手帳交付は個別に行うため、ケースごとの生活背景に合わせた説明、助言を行っています。

竜北中 3年 緒方 遥香 議員

各地区の伝統的な祭りについて

氷川町には三神宮のお祭りがありますが、竜北中学校の生徒には、あまりなじみがなく、竜北地区は宮原地区に比べ、祭りが少ない気がします。もしかすると途絶えてしまった祭りがあるのではないのでしょうか。町では伝統的な祭りや芸能の保存、復活についてどのように考えていますか。



答弁 生涯学習課長

氷川町では、三神宮のお祭りの他、鹿島神社のお祭りや各地区で夏祭りなども行われています。伝統ある祭りや行事は地区の方々から継承されているのが大半ですが、後継者不足などの問題により、途絶えている行事もあるようです。「どんじや」のように一時途絶えていた地区でも、地区住民の努力により復活した例もあります。また、町では指定無形民俗文化財の保存団体の活動に対する補助も行っています。

氷川中 3年 上木屋 晴斗 議員

地区のまちづくり活動への参加支援について

氷川中学校では、チャレンジショップや三神宮大祭を通じて、町内の方々と触れ合う機会とともに、まちづくり活動について学ぶ機会を頂いています。各学校の特徴ある学校づくりとして一緒に行う、地区のまちづくり活動への参加支援について、お聞かせください。



答弁 総務振興課長

本町の小中学校では、早くからコミュニティ・スクールに取り組み、地域と共にある学校づくりを目指しており、各学校でも特徴ある学校づくりとして、多くの地域行事に参加しています。その中で町としても会場提供や祭りへの参加補助も支援しています。社会に出てたくましく生きていく人材の育成のためにも、学校づくりの支援に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

氷川中 3年 塚田 透子 議員

環境美化一斉行動の実施について

氷川流域を見てみるとまだ清掃が行き届いていない場所があります。手入れされた環境は観光資源として魅力的であり、町民が一斉に清掃活動に取り組むことで、よりアピールできると思います。環境美化一斉行動の一環として、氷川の環境保全について町民全体で取り組んでみてはいかがでしょうか。



答弁 町民環境課長補佐

氷川町と八代市の行政職員で構成する氷川流域協議会団体と流域在住の有志で組織される氷川せせらぎの会が合同で年に1回河川公園の清掃活動を実施しています。また、氷川の水質改善を目的としたかき殻の放流イベントや町内小学校においてホテルの幼虫であるカワニナを放流するなど環境学習を兼ねた活動を展開しています。今後は清掃区域や参加対象者の拡大を考えていきます。

氷川中 3年 林田 千寛 議員

ジュニアリーダー育成および活動機会の充実について

ジュニアリーダーの活動が、他の児童にあまり知られていないと思います。予算を拡充し、プログラムを改善することで、参加者を増やすことが活動の活性化につながると思いますが、町では活動を広めるためにどのようなことをされていますか。



答弁 生涯学習課長

ジュニアリーダーは、子ども会で活動する子どもたちのお兄さん、お姉さん役として活動を支え、子ども会活動のリーダー的役割を担っています。子ども会行事などでのPRや広報誌での活動報告を行っていますが、あまり知られていないのが現状です。今年度はサバイバル体験などを計画し、活動の充実を目指しており、参加者がジュニアリーダー活動の楽しさを友達に広め、参加者が増えてくれればと思います。



平成28年 氷川町成人式 新たな決意を胸に 新成人148人の門出

1月3日、文化センターにおいて、平成28年氷川町成人式が行われ、新成人124人（対象者148人）が出席しました。新成人代表の実行委員で準備・運営された式典は、各中学校の卒業記念DVD上映で懐かしい思い出がよみがえるとともに幕が開き、藤本町長からは「これからの日本の未来を託された若者として、仲間を尊重し、お互いに励まし合い、自らの可能性を追求し、社会で成長活躍されていくことを期待しています」と式辞が述べられました。恩師によるスピーチ、新成人代表による誓いの言葉の発表なども滞りなく行われ、懐かしい恩師や級友との再会に、笑顔があふれる晴れやかな門出となりました。

新成人代表から力強い誓いの言葉 恩師からは温かいメッセージが伝えられました

新成人「誓いの言葉」

齊藤 舞（中網道）

今、ここにいる124名は成人という大きな節目を迎えています。その新成人一人一人が、社会人としての決意を新たにしていることでしょうか。

私は、専門学校で言語聴覚療法学科に所属しており、子どもから大人まで障がいを持たれている全ての方々に関わる「言葉や耳の聞こえ、のみ込み」に関する訓練やリハビリテーションについて学んでいます。

私が人に関わる仕事をしたい、人を助ける仕事をしたいたいと思うようになった理由の一つにこの氷川町で育ったことが挙げられます。

幼いころから家族だけでなく、近所の方々にたくさんの愛情を注いでもらい、今日まで生きてきました。この町は、人と人とのつながりが強い町だと感じます。だからこそ、人に関わり、助ける仕事をしたいたいと思うようになったのです。

これからの人生には模範解答がありません。つまり、人の数だけその道が開かれています。

これまでお世話になった全ての方々から身に付けた知識と

判断力を駆使し、生涯を掛けてその答えを探し求めます。その際に、幾度となく社会からの洗礼を受けることでしょうか。しかし、私たちには自慢の故郷があります。その故郷で出会った仲間がいます。出合いは財産であることを胸に刻み、これからも堂々と生きていきます。

最後に、この氷川町で学んだ全てを人生の糧とし、社会の一員として地域発展の一翼を担っていくとともに、人と人とを結び、新しい地域社会の創造に貢献できる社会人となるよう、日々精進していくことを誓い、新成人代表のあいさつとさせていただきます。



元 竜北中学校3年1組
担任 吉村美和先生

皆さんに私から2つの言葉を贈りたいと思います。

一つは、亡くなった父が皆さんと同じころ私に言ってくれた「自由と責任」という言葉です。「もう大人だから、いろんなことを自由に決めていい。しかし、決めたこと、言動に責任を持ちなさい」父が大人として認めてくれたことがうれしかったですし、大人としての一歩を踏み出す責任の重さを痛感しました。

もう一つ「同級生は一生同級生」という言葉です。戦時中、毎日死と隣り合わせの生活をしてきたという方の言葉です。遠く離れていても心の支えになるのは家族だし、同級生が支えになったということをおっしゃっていました。

私の人生を振り返っても、悩んだ時、つらい時に相談に乗ってもらったのは、やっぱり自分の近くにいる仲間だったという風に思います。

これから皆さんは、目標や大きな夢に向かって努力されていくことでしょう。そんな時に、家族の支えや同級生の支えに感謝しながら、これから先も豊かな人生が送れるよう頑張ってください。



元 竜北中学校3年3組
担任 宮田祐子先生

昨日あった同窓会の話です。小学校の時の恩師も来られました。「人生長かったですね。まだいっぱい出会はあります。人生いろいろだけんぞ」と毎回話されます。

先生から見ると、私はまだ12歳の祐子ちゃんなんです。

昨日、そんなことがあって思ったのは、同じ時間、同じ空間の中で、共にいろんな事を味わい、経験しながら過ごしてきた人たちがいるのは、いつまで経っても、つながっていられるのだなということでした。その時、一緒に過ごす人と顔を付き合わせながら話をし、つながっていくこと。それが一番大事ではないかなと思っています。

皆さんには、今日を機会に人との関わりをまた結び直してもらいたい。作り上げてもらいたいと思っています。

これから皆さんは、いろんな面で活躍をされると思っています。近くにいても、遠くにいても皆さんのことは覚えていきます。それぞれの場所でそれぞれの力を発揮して、活躍をされることを願っています。



元 氷川中学校3年1組
担任 西 陽平先生

卒業から5年が経ち、まだ幼かった君たちがたくましく、美しく、立派な成人の姿になっているのを見て、とてもうれしく思っています。

大人になって一番気を付けてほしいことは健康です。

すでに家庭を持っている方もいると思いますが、大切な人と出合い、子を授かり家庭を築いていくと思えます。

この年になると同窓会で会えない同級生も出てきます。

私は今、健康が一番大事だとつくづく思っています。まずは健康を第一に、元気にこれからも生きて行ってほしいと思えます。

これからのふるさと氷川町を引っ張って行く、新成人の皆さん、氷川プライドを忘れず、ふるさとに誇りを持ち、精一杯頑張ってください。



元 氷川中学校3年2組
担任 池上 藍先生

皆さんどの思い出として残っているのは、体育大会や学習発表会などに燃えて頑張ったことです。失敗もありましたが、一生懸命やると後悔は無いという今を今になっても思っています。一生懸命やると涙が出るくらい感動を味わうことができると。一度きりの人生だから感動の多い人生を送ってほしいと思えます。

皆さんに私が大切にしている「二期一会」という言葉を贈りたいと思います。

一期一会は茶道の言葉で「出合いを大切にしない」という意味もありますが、日頃毎日会っている人、前から知っている人と過ごす時間も、初めて会う人の時間と同じように「この瞬間は二度と帰ってこないのだから、大事にしない」という言葉だそうなんです。

ぜひ、人と人とのつながりを大切に、今この瞬間を大事に生きていってほしいと思います。



元 氷川中学校 特別支援学級
担任 木原まゆみ先生

皆さんの顔を懐かしく思いながら見ていましたが、すてきな大人に成長した皆さんに再会することができて、うれしく思っています。

国語の教科書に「握手」という小説があります。その中で恩師が主人公に向かって、つらい時、うまくいかない時は思い出してくださいという言葉で「困難は分割せよ」という言葉があります。

これは生徒たちだけじゃなく、これを読む人みんなに向けての言葉じゃないかなと私は解釈して、焦らずちよとずつ片付けて行こうという風に考えることにしています。

皆さんも、これからつらいこと、うまくいかないこともたくさんあると思いますが、そんな時は焦らず、心の片隅にこの言葉を置いて、それぞれの持ち味を生かして、活躍して行ってほしいなと思います。これからも応援しています。体気を付けて頑張ってください。

申告の時期になりました

■申告受付日程表

◆対象地区：宮原地区、河原・法道寺・高野道
 申告会場：氷川町公民館（旧宮原町中央公民館）1階 多目的ホール

収入の種類	受付日	受付時間	対象地区
①年金のみ、給与のみの人	2月15日(月)	9:00～11:30	町・桜ヶ丘
		13:30～16:00	新村・下宮
	2月16日(火)	9:00～11:30	早尾・有佐・原田
		13:30～16:00	梶・西上宮・宮園・立神・川上
	2月17日(水)	9:00～11:30	今・東上宮
		13:30～16:00	河原・法道寺・高野道
②農業・不動産・営業などの事業収入の人、①以外の収入がある人	2月18日(木)	9:00～11:30	早尾
		13:30～16:00	桜ヶ丘・原田
	2月19日(金)	9:00～11:30	梶・川上・宮園
		13:30～16:00	今・有佐
	2月22日(月)	9:00～11:30	立神
		13:30～16:00	東上宮・下宮
	2月23日(火)	9:00～11:30	西上宮・町
		13:30～16:00	新村
2月24日(水)	9:00～11:30	河原・法道寺・高野道	

◆対象地区：竜北地区（河原・法道寺・高野道を除く）
 申告会場：氷川町文化センター 1階 講堂

収入の種類	受付日	受付時間	対象地区
①年金のみ、給与のみの人	3月2日(水)	9:00～11:30	吉野地区・野津地区
		13:30～16:00	
	3月3日(木)	9:00～11:30	和鹿島地区
		13:30～16:00	
②農業・不動産・営業などの事業収入の人、①以外の収入がある人	3月4日(金)	9:00～11:30	北野津・立石
		13:30～16:00	
	3月7日(月)	9:00～11:30	高塚・迫
		13:30～16:00	
	3月8日(火)	9:00～11:30	中大野・笹尾
		13:30～16:00	
	3月9日(水)	9:00～11:30	南鹿野・西網道
		13:30～16:00	
	3月10日(木)	9:00～11:30	北鹿野・若洲
		13:30～16:00	
	3月11日(金)	9:00～11:30	東網道・中網道
13:30～16:00			
			上鹿島
			島地・沖塘
			柳の江・下鹿島

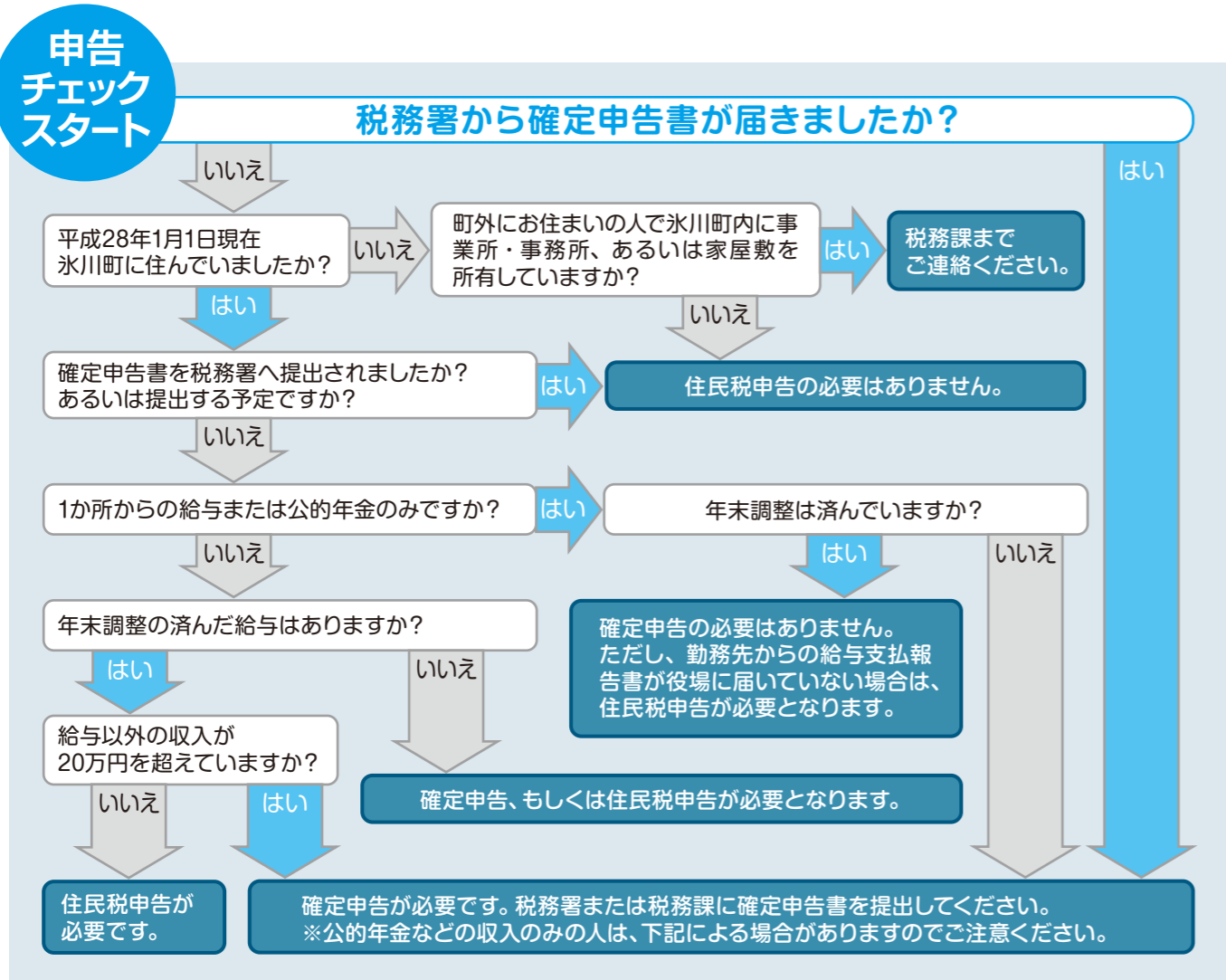
※日程と会場は、混雑防止のため地区で割り振りを行っておりますが、指定日にご都合が悪い場合は、他の日時にお越しただいても結構です。また、会場では受付順に申告相談を行います。書類不足や内容に不明な点などがあると時間がかかり、順番待ちの人にご迷惑をおかけすることになりますので、事前にご準備いただき、スムーズな申告相談の進行にご協力くださいますよう、よろしくお願いたします。なお、申告期間中は税務課窓口での申告受付は行っておりませんので、何とぞご了承願います。

平成27年分の所得税（復興特別所得税を含む）および平成28年度の個人住民税の申告時期になりました。この申告は、平成27年1月1日から12月31日までの所得について行うものです。

平成28年1月1日現在で氷川町内に住所のある人で、所得税の確定申告が済んでいない人、給与収入のみで年末調整をされていない人などは申告が必要となります。

申告に必要なもの

- ①確定申告書または住民税申告書、収支内訳書（事業収入のある人）
- ②印鑑
- ③源泉徴収票など、収入を証明できるもの（給与収入の人で源泉徴収していない事業所などに勤務されている場合は、雇用主から給与の支払証明書をもらってください）
- ④生命保険料控除証明書、社会保険料控除証明書など支払額が分かる書類（ただし、平成27年中に支払ったものに限りません）
- ⑤医療費控除がある人は、医療費の領収書（ただし、平成27年中に支払ったものに限りません）
- ⑥その他申告に必要な書類



公的年金などの収入金額が400万円以下で、かつ、公的年金などに係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合でも、医療費控除や生命保険料などの控除により所得税の還付申告をする人は、確定申告が必要になります。

また、住民税にも影響しますのでご注意ください。
 ※ご不明な場合は、税務課までお問い合わせください。

税に関するお知らせ

国税庁ホームページで確定申告書などの作成コーナーを提供しています

国税庁のホームページに掲載している「確定申告書等作成コーナー」では、画面案内に従って金額などを入力することにより、計算誤りのない所得税および復興特別所得税・消費税および地方消費税・贈与税の確定申告書などを作成することができます。

特に、給与所得者または年金所得者の人向けに、初めての人でも操作がしやすい申告書作成画面が新設されましたので、ぜひご利用ください。作成した確定申告書などは印刷して所轄税務署へ郵送などにより提出することができます。また、電子申告(e-Tax)により確定申告などを行うこともできます。

なお、e-Tax利用開始のための手続、e-Taxソフト、確定申告書等作成コーナーおよびその利用のためのパソコン操作などに関するお問い合わせに電話で対応する専用窓口(税務相談などを除く)を設置しております。

コーナーヘルプデスク
 ☎0570-0115901

確定申告に関するお問い合わせは電話相談センター101番へ!

熊本国税局では平成28年1月18日(月)から3月15日(火)までの期間、「確定申告電話相談センター」を開設し、所得税および復興特別所得税・消費税および地方消費税・贈与税の確定申告に関するご相談などに電話でお答えしております。

八代税務署の代表電話にお掛けいただくと、自動音声案内によりご案内しますので「0」番を選択し、用件をお話しください。申告会場や受付時間などの問い合わせにはオペレーターがお答えするほか、お問い合わせの内容などにより、電話を転送し、職員などがお答えいたします。

なお、時間帯によっては、電話がつながりにくい場合や少々お待ちいただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。よろしくお願いいたします。

八代税務署
 ☎32-3141(代表)

出場おめでとうになります 全国・九州大会出場者激励会

12月17日、役場庁議室において、全国・九州大会出場者の激励会が行われ、藤本町長から出場選手へ激励費が手渡されました。出場選手、大会などについては次のとおりです。

- 【大会名】 第2回なでしこ MIYAZAKIカップ
- 【出場チーム】 熊本ユナイテッドSCエーマ
- 【出場選手名】 竜北西部小 稲田 雛さん（6年・東網道） 藤本 日菜さん（6年・若洲）



▲左から稲田雛さん、藤本日菜さん

- 【大会名】 2015年度九州ジュニアフットサル大会
- 【出場チーム】 エスペランサ熊本U-12
- 【出場選手名】 赤星 悠佑くん

- （竜北西部小6年・西網道） 竹田 歩夢くん
- （竜北西部小6年・若洲） 中島祥太郎くん
- （竜北西部小6年・柳の江） 松岡 大翔くん
- （竜北西部小6年・若洲） 古閑 晴菜さん
- （竜北東小6年・中大野）



▲左から松岡大翔くん、中島祥太郎くん、竹田歩夢くん、赤星悠佑くん、古閑晴菜さん



- 【大会名】 第24回全国小学生バドミントン選手権大会
- 【出場チーム】 宮地ジュニア
- 【出場選手名】 藤本 純くん
- （宮原小6年・早尾南）



▲藤本純くん(左)



- 【大会名】 第24回全九州ウエイトリフティング競技選抜大会
- 【出場選手名】 作村 颯貴さん
- （八代農業高校1年・立神）



▲作村颯貴さん

- 【大会名】 第29回全国都道府県対抗中学バレーボール大会(熊本県代表)
- 【出場選手名】 八木田麻衣子さん
- （竜北中3年・北野津）
- ※大会では3位の成績を収められました。



▲八木田麻衣子さん

スポーツ推進活動を報告 スポーツ推進委員研修大会

11月28日、阿蘇体育館(阿蘇市)において、第54回熊本県スポーツ推進委員研修大会が開催されました。

研修では、2つの分科会に分かれ、事例発表と意見交換会が行われ、スポーツ推進委員の吉見和晃さん(上鹿島)が「八代郡スポーツ推進委員協議会の現状と課題」と題して活動内容の実践報告を行い、参加者からは熱心に質問が出されました。

また、研修に先立ち行われた表彰式では、八代郡体育協会長の山下武さん(町)が精力的に後進指導や青少年育成、組織運営に尽力されていることが認められ、熊本県生涯スポーツ功労者として表彰されました。



▲功労が認められ表彰を受けた山下武さん

手作り門松で福を呼ぶ ミニ門松づくり

12月23日、すばく竜北において、ミニ門松づくり(青少年育成町民会議・氷川町子ども会共催)が行われ、児童や保護者など約70人の参加がありました。

児童らは、ボランティアの皆さんから作り方を教わりながら、のこぎりや竹を切ったり、わらを使って、しめ縄を編むなどして、門松の土台を作ると、思い思いに飾り付けし、門松を完成させました。

この日は、寒さを感じる中での作業となりましたが、終了後には、婦人会から「だご汁」が振る舞われ、参加者は冷えた体を温めながら、おいしそうに味わっていました。



▲思い思いに飾り付け

遠く海外で技術貢献 シニア海外ボランティア表敬訪問

12月24日、国際協力機構(JICA)シニア海外ボランティアとして派遣される中村博典さん(桜ヶ丘)が藤本町長を表敬訪問されました。

中村さんは、平成28年1月から平成30年1月までの2年間、南太平洋の島国トンガ王国に派遣され、現地の職業訓練校で、教員や生徒に自動車の整備の実習指導を行い、技術向上を目指します。

中村さんは、昨年1月にエルサルバドルでの3年間の派遣から帰国。今回が7回目の派遣となり、海外ボランティアのスペシャリストとして、一層の活躍が期待されます。



▲表敬訪問された中村博典さん

無病息災を祈って 各地区で「どんどや」

1月上旬、各地区で「どんどや」が行われました。

「どんどや」は、竹などで組んだやぐらと共に、各家庭の正月飾りやお札を集めて焼く伝統行事で、この火で餅を焼いて食べると無病息災の効果があると言われていました。

10日に新村地区で行われた「どんどや」では、地区住民が協力して組み上げたやぐらに、地区の年男、年女の皆さんが、わらに付けた火で点火をする「バーン」と大きな音を響かせながら、燃え上がりました。

周囲には餅を焼く人で輪ができ、焼きあがった餅を食べながら、交流を深めていました。



▲燃え上がるどんどやの火

竜西っ子の2学期

2学期の学習の様子

1年生 チューリップ球根植え 2年生 町探検



3年生 点字教室 スーパーマーケット見学 4年生 北部音楽会事前発表



5年生 水俣環境学習 おしきた青少年の家活動 6年生 花植え ICT活用研究事業



竜西ふれあいフェスタ

学年ステージ発表 午前中、各学年の学習発表を行いました。



1年生

2年生

3年生



4年生

5年生

6年生

ふれあい活動 午後からは地域の皆さまの協力により、親子でふれあい活動を行いました。



押し花づくり

調理



しおり・絵はがき

手話

絵本づくり



もちつき

農の花

エコおもちゃ



竹馬

グラウンドゴルフ



毎月11日は人権を確かめあう日です

2016



まちへのホットライン

氷川町役場

総務課	総	52-7111
企画財政課	企財	52-5850
町民環境課	町環	52-5851
健康福祉課	健	52-5852
税務課	税	52-5853
農業振興課	農振	52-5854
農地整備課	農整	52-5855
建設下水道課	建設係	52-5856
下水道係	下	52-5862
出納室	出	52-5857
議会事務局	議	52-5858
農業委員会	農委	52-5861

宮原振興局

総務振興課	総振	62-2311
まちづくり推進係	まち	62-2317
商工観光課	商	62-2315

教育委員会

学校教育課	学	62-3313
生涯学習課	生	52-5860
学校給食共同調理場	給	52-6202

社会福祉協議会

氷川町社会福祉協議会	社協	52-5075
電北福祉センター		52-5121
地域包括支援センター		52-5335
宮原福祉センター		62-3456

※休日在宅医院は先生方の都合により変更になる場合があります。確認をお願いします。

八代郡医師会 ☎52-2233

日曜日 Sun	月曜日 Mon	火曜日 Tue
	1 ◆母子健康手帳交付 健 8:30~12:00 健康福祉課 ◆健康相談日 健 8:30~12:00 健康センター ●休館日 電北福祉センター	2
7 ◆町民体育祭冬季大会 生 8:30~ 電北体育センター ●休館日 宮原福祉センター ◎休日在宅医院 よかと整形外科 リウマチクリニック 外科系 ☎46-8110 尾田内科医院 内科系 ☎52-8011	8 ◆母子健康手帳交付 健 8:30~12:00 健康福祉課 ◆健康相談日 健 8:30~12:00 健康センター ●休館日 電北福祉センター	9
14 ◆郡市対抗熊日駅伝大会 生 ●休館日 宮原福祉センター ◎休日在宅医院 松村眼科医院 外科系 ☎52-0131 伊藤医院 内科系 ☎52-8091	15 「氷川町交通安全の日」 ◆母子健康手帳交付 健 8:30~12:00 健康福祉課 ◆健康相談日 健 8:30~12:00 健康センター ◆農地法申請締切 農委 ●休館日 電北福祉センター	16 ◆3歳児健診(H24.12月~H25.1月生) 健 1歳児健診(H27.2月生) 健 12:30~ 健康センター
21 ◆氷川町公民館大会・人権啓発集会 生 9:30~ 文化センター ◆資源ごみ分別収集 町環 ●休館日 宮原福祉センター ◎休日在宅医院 福田外科・整形外科クリニック 外科系 ☎52-0840 名和小児クリニック 内科系 ☎52-7800	22 ◆母子健康手帳交付 健 8:30~12:00 健康福祉課 ◆健康相談日 健 8:30~12:00 健康センター ●休館日 電北福祉センター	23 ◆4カ月児健診(H27.10月生) 健 7カ月児健診(H27.7月生) 健 12:30~ 健康センター
28 ●休館日 宮原福祉センター ◎休日在宅医院 稲毛整形外科医院 外科系 ☎52-1715 宮城循環器内科 内科系 ☎46-0007	29 ◆母子健康手帳交付 健 8:30~12:00 健康福祉課 ◆健康相談日 健 8:30~12:00 健康センター ◆メンタルヘルス相談日(要予約) 健 14:00~17:00 健康センター ◆社協心配ごと相談・法律相談(要予約) 社協 13:30~16:00 電北福祉センター ●休館日 電北福祉センター	

毎月15日は氷川町交通安全の日です

水曜日 Wen	木曜日 Thu	金曜日 Fri	土曜日 Sat																						
3	4	5	6																						
10	11 「建国記念の日」 「人権を確かめあう日」 ◎休日在宅医院 荒木皮ふ科医院 外科系 ☎52-8777 松本医院 内科系 ☎52-0330	12	13																						
17 ◆もぐもぐ教室(H27.6~9月生) 健 10:00~ 健康センター	18 ◆献血 健 9:30~15:30 健康センター	19 ◆行政相談 総 10:00~15:00 健康センター	20																						
24	25 ◆集合税ほか納期日・口座振替日 出 ◆農業委員会総会 農委 13:30~ 役場大会議室	26	27 ◆八火図書館本まつり 生 14:00~ 氷川町公民館																						
小児救急電話相談 ~お子さまが急病のとき~ 夜間におけるお子さまの急な発熱、嘔吐、下痢、腹痛などの応急措置を相談できる窓口です。経験豊かな看護師がアドバイスします。 相談時間 毎日19時~24時 電話番号 ☎#8000(ダイヤル回線は使用不可) ☎096-364-9999	休日救急歯科診療 ~急な歯の痛み~ 日曜日、祝祭日に急な歯や歯肉の痛み、事故などにおける外傷の処置、そのほか、緊急時の歯科治療を行います。 〈場所〉 八代歯科医師会口腔保健センター 八代市上野町折口3591-14 〈診療時間〉10時~16時 問 ☎31-8020	氷川町の火災・救急件数 (H27年1月からの累計) <table border="1"> <tr><th>12月31日現在</th><th>火災</th><th>救急</th></tr> <tr><td>氷川町</td><td>3</td><td>700</td></tr> </table> 熊本県内の交通事故件数・死傷者数 (H28年1月からの累計) <table border="1"> <tr><th>1月20日現在</th><th>件数</th><th>死者</th><th>傷者</th></tr> <tr><td>熊本県下</td><td>277</td><td>7</td><td>349</td></tr> <tr><td>氷川署管内</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>氷川町</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>		12月31日現在	火災	救急	氷川町	3	700	1月20日現在	件数	死者	傷者	熊本県下	277	7	349	氷川署管内	0	0	0	氷川町	0	0	0
12月31日現在	火災	救急																							
氷川町	3	700																							
1月20日現在	件数	死者	傷者																						
熊本県下	277	7	349																						
氷川署管内	0	0	0																						
氷川町	0	0	0																						

ごみの減量化にご協力ください。